

一心臓血管疾患患者の 五感診療から学ぶ Part 31

*。沢山俊民

Part 3 では心雑音の聴き方について、主として総論的な側面からアプローチしてみる。

なお、聴診、とりわけ心雑音の習得に関しては、ここで述べる基礎知識に加えて、ぜひとも CD あるいは DVD 等の教材の利用をお勧めしたい。これらに関する著者の出版目録を次回 Part 4 の末尾に付記しておくので、参照していただければ幸いである。

心雜音(Heart Murmur)

総論:心雑音の聴き方、種類

1. 心雑音を聴く前に

● 心音と心雑音とはどう違うのか?

▲ 心雑音とは「一般に心音と心音の間(収縮期・拡張期) に聴かれ、心音よりも持続が長く、心房・心室・大血管の基 始部で発生するノイズ | のことである。

・ 心雑音にはどんな種類があるのか? (図 1)

A 心雑音には.

①器質性雑音 (organic murmur): 心疾患と関係した弁の狭 窄や閉鎖不全などにもとづくもの

機能性雑音 (functional murmur): 心疾患がなくても生じ るもの

②収縮期雑音(systolic murmur)

拡張期雑音 (diastolic murmur)

往復雑音 (ブランコ雑音、to-and-fro murmur): 両時期と も同じ程度に聴かれる雑音(例:大動脈弁狭窄+同逆 流)

連続性雑音 (continuous murmur): II 音を境にして両時期 にまたがって聴かれる雑音で、一種類の循環異常で生 じるもの

③駆出性雑音(ejection murmur):血液が大血管に駆出され るときに生じる雑音

逆流性雑音 (regurgitant murmur):血液が心室や心房に逆 流するときに生じる雑音

など種々の分類がある(図2)。

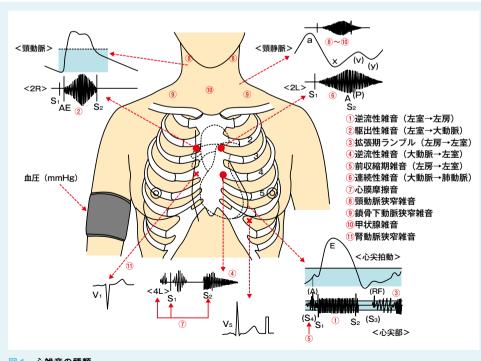


図1 心雑音の種類